

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 8 日

事業名称		行政改革推進業務費 [ 行政改革推進事務 ]										
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業番号	5				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	行政管理 課					行政管理 係					課長名	木村 西
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 2				
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現							総合計画書 (ページ)	122				
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	行政改革大綱推進計画				第5次行政改革大綱の取組項目数(平成31年度)							
	→											
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
	計画どおりの取組が行われている。				「達成」又は「一部達成」項目/全取組項目(平成31年度)							
	→											
3 経費	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	①各課への取組実績を依頼(平成31年度の取組) ②平成30年度の取組状況を取りまとめ、行政改革推進本部会議において、各課の取組状況の報告、審議。 ③推進状況の管理				① 2回(年度当初・上半期終了後) ② 1回(10月) ③ 取組項目が「達成」又は「一部達成」になった数							
	→											
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
			平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標				
2	対象指標	①の数値	事業	41	42	40	/					
	成果指標	②の数値	%	83.0	83.3	86.9						
	目 標	②の目標値	%	100.0	100.0	100.0						
		目標値設定の考え方										
		行政改革大綱推進計画を確実に実行し、全項目の達成を目指す。										
3	事業費(実績)	円	347,271	243,542	125,356		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	347,271	243,542	125,356						
		特定財源	円									
			(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.6	0.8	0.5						
		所要人数(再任用)	人									
職員人件費	職員人件費(再任用以外)	円	4,951,800	6,595,200	4,155,000							
	職員人件費(再任用)	円										
		事業費+人件費	円	5,299,071	6,838,742	4,280,356						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成9 年度									
	(2) 環境の変化		・平成9年7月に第1次行政改革大綱が策定され、事務事業の見直しや職員数の削減等、行政の効率化を図ることとした。 ・平成29年度からは、第5次行政改革大綱推進計画の計画期間に入っており、「市民本意の行政サービスの推進」「市民参加・協働推進のための環境整備」「効果的・効率的な組織の整備と人材育成」「持続可能な自治体経営のための行財政運営」を基本目標に行政改革大綱推進計画を策定し、47項目について進行管理を行なっている。 ・第5次行政改革大綱には改革課題の新たな取組項目として、「マイナンバーの活用による利便性の拡大」「わかりやすい窓口表示」などが加わった。「行政評価制度の推進」や「公共施設のあり方の検討」など第4次行政改革大綱から継続した取組課題もある。									

